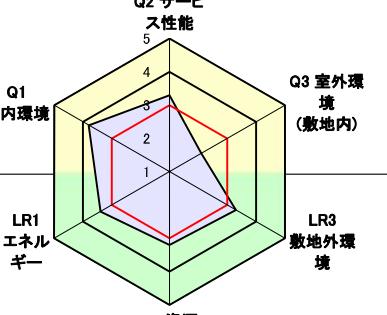
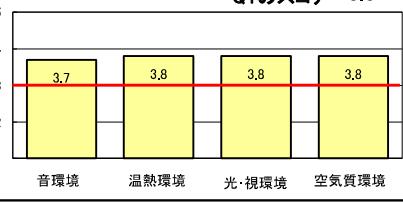
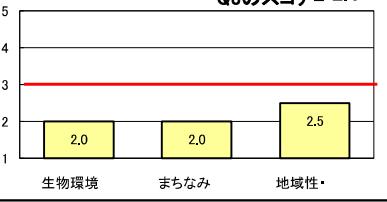
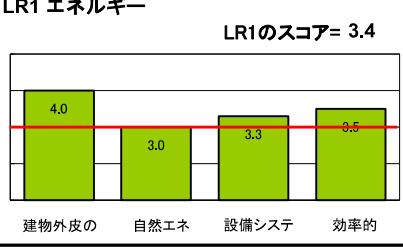
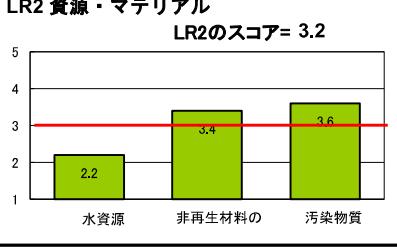
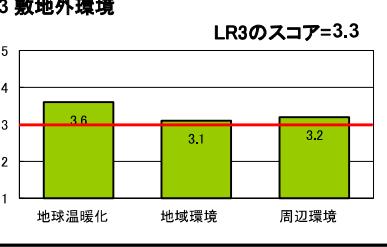


CASBEE® 名古屋

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 特別版2016年版、名古屋市環境総合性能評価マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーブンシティ西区上名古屋三丁目 新築工事	階数	地上15F
建設地	名古屋市西区上名古屋3丁目2120番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年7月6日
敷地面積	1,022 m ²	作成者	
建築面積	388 m ²	確認日	2022年7月7日
延床面積	4,707 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)									
= BEE1.3 													
★ : S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C		標準計算 <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>83%</td> </tr> </table> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>		①参照値	100%	②建築物の取組み	83%	③上記+②以外の	83%	④上記+	83%	Q のスコア = 3.1	
①参照値	100%												
②建築物の取組み	83%												
③上記+②以外の	83%												
④上記+	83%												
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q1 室内環境 		Q3 室外環境 (敷地内) 									
Q 環境品質		Q2 サービス性能 		Q のスコア = 3.1									
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)									
LR 環境負荷低減性		LR1 エネルギー 		LR のスコア = 3.3									
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル 		LR3 敷地外環境 									
Q3 設計上の配慮事項		その他		Q3 のスコア = 2.1									
総合 再生利用が可能な資源を多く採用し環境に配慮/更新、維持管理のしやすい設計		その他 特になし		Q3 のスコア = 3.3									
Q1 室内環境 室内に適した内装材や建具を採用し、音環境、光・視環境、空気質環境に配慮		Q2 サービス性能 防汚性の高い建材を採用する等、機能性に配慮		Q3 室外環境 (敷地内) 特になし									
LR1 エネルギー 等級4/BEI=0.97		LR2 資源・マテリアル ケーリン購入法における特定調達品目やエコマーク商品を採用し非再生性資源の削減に配慮/解体時に容易に分別可能な工夫		LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=83%/駐輪・駐車場・複数出入口を確保し周辺道路の渋滞緩和に配慮									

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)オーブンレンジシア西区上名古屋三丁目 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
 ■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目	評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策			3.4
LR1 エネルギー	3.5	0.4	
LR3.1 地球温暖化への配慮	3.6	0.1	
LR3.2.2 溫熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生			2.3
Q3.1 生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2 まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会			3.1
LR2.1 水資源保護	2.2	0.06	
LR2.2 非再生性資源の使用量削減	3.4	0.18	
LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.4



2. 自然共生

評価点 = 2.3



3. 循環型社会

評価点 = 3.1



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。